

自己点検評価報告書

①	基準 I-1	教育理念・目標・方針
---	--------	------------

◆評価基準

- ① 教育理念が明文化され、公表されている
- ② 教育目標が明文化され、公表されている
- ③ 学科・専攻ごとの教育方針が明文化され、公表されている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- 2：基準を概ね満たしている
- ③：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

学院案内、学生便覧、学院ホームページ等へ明示し、いつでも誰でも確認することができる。
また、保護者会・役員会においても保護者に対して先に挙げた内容を使用し、説明するなど
している。

◆自己点検評価結果における課題と対応

校是として建学の精神である「誠の医療」を開学から40年継承しつつ、急速な時代の変化に
対応すべく、柔軟な教育環境作りを目指し、超高齢化社会に伴う医療現場の動向に即した臨床
教育、実践教育を推進し、他職種連携がさらに重要となるなかで、理学療法士・作業療法士の
真の専門性を確実に養う教育、養成に努めたい。

②	基準Ⅱ-1	教員の要件
----------	--------------	--------------

◆評価基準

- ① 指定規則に定める基準が遵守されている
- ② 専任教員は全員が協会員（JPTA・JAOT・JAS）である
- ③ 専任教員は全員が必要な教育・研修修了者である

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- 2：基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

・両学科教員PT8名、OT7名の全員が指定規則に定める基準を満たしている。
・全員が協会に所属している。
・PT教員等長期講習会修了者6名
・OT教員等長期講習会修了者6名
その他、全国リハビリテーション学校ならびに日本理学療法士協会、日本作業療法士協会が主催する研修会や各種講習会へ毎年参加、受講させており、教育の質向上に努めている。

◆自己点検評価結果における課題と対応

今後も未修者には必要な研修や講習の積極的受講を促すとともに、併設する附属病院や近隣の児童・福祉・介護施設での臨床研修を経験させ学生教育の向上に繋げたい。

③	基準Ⅱ-2	学科・専攻の長
----------	--------------	----------------

◆評価基準

- ① 学士またはそれに準ずる学識経験と教育経験を有する者である
- ② 修士以上の学位を有し、必要な教育・研修修了者である
- ③ 修士以上の学位を有し、10年以上の教育経験と必要な教育・研修修了者である

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- 2：基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

PT学科長	学士、長期講習修了、教育経験 35 年、第 21 回教育研究大会・教員研修会大会長 第 36 回四国理学療法士学会学会長を務める。
OT学科長	長期講習修了、教育経験 35 年、日本作業療法士協会理事、日本発達障害ネット ワーク理事、認定作業療法士、日本リハビリテーション医学会等多数の学会所属

◆自己点検評価結果における課題と対応

次世代への継承も含め、役職者には更なる教育・研究分野への研修参加を促し、学位、認定療法士等の取得に努めるよう勧めたい。

④	基準Ⅱ-3	教員と教科目
----------	--------------	---------------

◆評価基準

- ① ガイドライン等で定める基準が遵守されている
- ② 担当科目には、必要な教育・研修を修了した専任教員が適正配置されている
- ③ 指定規則の定数を超える専任教員が配置されている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- 2：基準を概ね満たしている
- ③：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

指定規則に定める基準を遵守し、3年間の学業修得に必要な教育課程において、基礎、専門
基礎、専門分野それぞれに秀でた人材、経験豊富な人材を専任教員ならびに附属病院のセラピ
ストを非常勤講師として配置し、シラバスに従って講義や実習を行っている。また、学内のF
D委員会と連携し、各教科のコアカリキュラムについて意見を交換するなど次年度以降の更な
る教育向上に努め、年に1回程度ではあるものの外部の大学教授を招いたFD研修を行うなど
教員の授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組も行っている。

◆自己点検評価結果における課題と対応

第三者機関等を含め外部団体からの総評や意見、学生や保護者からの評価も鑑み、多様に変化
する教育・医療現場の要求に応える教育や人材の環境作りに励みたい。

⑤	基準Ⅱ-4	教育環境の整備
----------	--------------	----------------

◆評価基準

- ① 指定規則、ガイドライン等で定める基準が遵守されている
- ② 教育上必要な機械器具教材が適時、整備・更新されている
- ③ 最新の設備や機器等が適切に整備されている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- 2：基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

指定規則、ガイドライン等で定める基準が整備されている。教育上必要な機器、教材、図書
それぞれ使用期間、改訂内容など見直しを行い、年間購入が必要な備品、老朽化・永年劣化
が著しい備品、内容の大幅な改訂など状況に応じて、機器、備品、模型標本を整備している。

◆自己点検評価結果における課題と対応

天災等の想定外な事案が発生し、学校自体の安全性が損なわれる災害や事件・事故が近年全国的に見受けられる。国の危機管理におけるガイドラインを基準に学内の危機管理マニュアルを見直し、防犯面・災害面ともに安全・安心な教育環境の維持・確保に努め、関係機関や関連業者との連携を図りたい。

⑥	基準Ⅱ-5	教員のための設備
----------	--------------	-----------------

◆評価基準

- ①ガイドライン等で定める基準が遵守されている
- ②教員室（研究室）および個別指導の場が確保されている
- ③教員の教育内容に対応した実習・研究機材が整備されている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- 2：基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

教員個人の業務、研究に集中できるようなスペースと学生の個人情報にも配慮したブースを確保している。個別指導ができる面談室が複数、また少数班によるゼミやセミナーに対応できる教室と作業可能な教室、休憩室も確保できている。

◆自己点検評価結果における課題と対応

無線LANを始めとするネットワーク環境の強化は喫緊の課題であるが、情報漏洩の危険も常に考えられ、高度なセキュリティ対策とネットワークトラブルへの対応も重要な課題として講義環境の整備も対策や検討を行う。

⑦	基準Ⅱ-6	教育のための予算
----------	--------------	-----------------

◆評価基準

- ① ガイドライン等で定める基準が遵守されている
- ② 教育上必要な機械器具や図書購入予算が明示され、計画的に執行されている
- ③ 教員および学生の研修計画（予算）と支援体制が整備されている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- 2：基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

指定規則に定めるガイドラインに従い学院の施設や設備の見直しと整備を実施している。
教育研究経費として備品や教材の購入は、教材費・図書費・実習費などに予算を振り分け、
学科ごとの意見を集約したうえで年度毎、もしくは数ヶ年計画により購入するなどしている。

◆自己点検評価結果における課題と対応

教員からの要望も定期的に調査し、効果的な講義を実施できる教育備品の整備を行いたい。

⑧	基準Ⅱ-7	教員の質向上
----------	--------------	---------------

◆評価基準

- ① 教育・研究・研修規程、ハラスメント対策が整備され、公表されている
- ② 授業評価およびFD・SDが実施され、結果が公表されている
- ③ 教育の質向上に向けた研修・研究への積極的な取り組みが見られる

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- ②：基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

研修規定を定める。定期的なFD委員会の実施、
授業評価を前期、後期に分けて実施し、ホームページによる公表している。
FD委員会を設置し、カリキュラムやシラバス、授業科目について協議検討している。
教育や学生の変化に応じた工夫や対応が計れるよう不定期ながらFD研修を実施している。

◆自己点検評価結果における課題と対応

職務上のハラスメント規定は整備されている。学生への指導や説明はメンタルヘルス、防犯対策も含め、外部講師や各担任のセミナーで時間を取って実施している。ハラスメントに特化した学生規定の整備が不十分であり、今後整えたい。

⑨	基準Ⅲ-1	教育課程の内容
----------	--------------	----------------

◆評価基準

- ① 指定規則、ガイドライン等で定める基準が遵守されている
- ② 定期的なカリキュラムの検討・見直しが行われている
- ③ 特色ある教育プログラムを有している

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- 2：基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

指定規則、ガイドライン等で定める基準を遵守している。
F D 委員会で効果的な教科や講義内容について意見交換し、協議を実施している。
年に数回、接遇やコミュニケーション、手紙やレポートの書き方、救命救急、パラリンピックメダルリストなど、普段の講義とは異なる領域や分野で活躍される方々を外部講師として招き、社会人や医療人としての資質向上を養うことを目的に特別講義を実施している。

◆自己点検評価結果における課題と対応

学生からの要望も視野に、今後も定期的な特別講義を実施したい。

⑩	基準Ⅲ-2	全体的配分
---	-------	-------

◆評価基準

- ① 指定規則で定める基準が遵守されている
- ② 講義概要・学生便覧が整備され、周知されている
- ③ カリキュラムツリーやマップ等を配し、分かり易く整備されている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- ② 基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

指定規則で定める基準が遵守されている。
講義概要・学生便覧が整備され、周知されている。
シラバスや年間行事を学生がスマホから直接確認できるよう整備している。

◆自己点検評価結果における課題と対応

各教科の連携や講義科目の繋がりをフローチャートなど、図で配置すればさらに各教科の重要性が理解できるため整備を検討したい。

①	基準Ⅲ-3	入学者選考基準
---	-------	---------

◆評価基準

- ① ガイドライン等に基づき、適正に行われている
- ② 入学者の公正な選抜実施と入学定員が遵守されている
- ③ 入学者選抜要項が整備され、公表されている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- 2：基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

ガイドライン等に基づき、適正に行われている。
入学者の公正な選抜実施と入学定員が遵守されている。
入学者選抜要項が整備され、公表されている。

◆自己点検評価結果における課題と対応

入試の多様化・複雑化もあり、これまで以上に公正な選抜が行えるよう努める。

⑫	基準Ⅲ-4	教育方法
---	-------	------

◆評価基準

- ① 講義概要・学生便覧を遵守した教育が行われている
- ② 講義、演習、実習が効果的に組み合わせられている
- ③ 特色ある教育方法を取り入れている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- 2：基準を概ね満たしている
- ③ 基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

講義概要・学生便覧を遵守した教育が行われている。
講義、演習、実習が効果的に組み合わせられている。
附属病院が併設されており、臨床に即した実践的教育を行っている。また県内の養成校では唯一、見学だけではなく人体解剖実習を行うことができる。

◆自己点検評価結果における課題と対応

外部講師らの意見も参考に、効果的な教育方法を図るとともに将来の仕事として医療や福祉の現場で臨機応変に対応できる素養を養わせたい。

⑤	基準Ⅲ-5	学生の成績評価
---	-------	---------

◆評価基準

- ① 評価基準、方法を明記した文書がある
- ② 全体的能力を評価する基準を設けている
- ③ 進級・卒業要件に基づき、適正に行われている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- 2：基準を概ね満たしている
- ③ 基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

学則とシラバスへ進級・卒業・臨床実習の評価・判定基準を明記している。
学内における判定会議を規定に即して実施し、判定を行っている。

◆自己点検評価結果における課題と対応

授業科目、単位、シラバスを定期的に検証し、適正化を徹底できるよう努める。

①	基準Ⅲ-6	臨床教育の内容
---	-------	---------

◆評価基準

- ① 指定規則、ガイドライン等に基づき、適正に行われている
- ② 客観的臨床能力試験（OSCE）が導入され、評価・単位認定を行っている
- ③ 先進的な教育プログラムを取り入れている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- 2：基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

ペーパーペーシェント、附属病院での模擬実習・院内実習、近隣の児童、福祉、介護施設を利用した見学実習など、1，2年生の早い段階から実習に取り組める体制を整えている。
作業療法学科は外部施設による2週間の精神科実習を実施する。
3年生臨床実習ではⅠ期(7週)、Ⅱ期(7週)、Ⅲ期(8週)計3回異なる領域と分野、特徴を持った施設での実習を行う。
卒業試験では、臨床能力を口頭試問にて判定材料に取り入れている。

◆自己点検評価結果における課題と対応

臨床実習指導者連絡会議や各期の実習地訪問などで指導者から多くの意見を伺い、臨床実習の内容について検討する。

⑦	基準Ⅲ-7	臨床実習の単位数、期間
---	-------	-------------

◆評価基準

- ① 指定規則で定める基準が遵守されている
- ② 臨床実習が効果的に配置（実施）されている
- ③ 新たな臨床実習への取り組みが見られる

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- 2：基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

臨床実習時間数945時間、総単位数21単位
1期：5月初旬～7週 2期：7月初旬～7週 3期：9月初旬～8週
各期のインターバルを適性に設けている。
3分の2以上を病院もしくはクリニック(診療所)で行っている。

◆自己点検評価結果における課題と対応

新たな臨床実習として通所リハビリ、地域実習を取り入れる。
単位取得・資格の取得だけが目的ではない、現場で仕事のできる患者さまから必要とされる「理学療法士・作業療法士」の養成に努めたい。

16	基準Ⅲ-8	臨床実習施設との連携
----	-------	------------

◆評価基準

- ① 臨床実習指導者会議を開催し、議事録を保管している
- ② 臨床実習に際し、実習前後を含め密な連携を取っている
- ③ 臨床実習に専任教員が随時参加し、指導している

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- 2：基準を概ね満たしている
- ③ 基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

年度末に臨床実習指導者連絡会議を実施する。
外部講師を招いた臨床教育に関わる内容の講演会を行い、各部会に別れ今年度の反省と次年度の臨床実習計画を協議する。会議議事録を全実習施設指導者へ送付する。実習開始時と終了時に電話連絡による学生状況の確認、実習中は各期必ず専任教員が訪問し、実習の内容を確認し、学生の体調や環境適応、指導者とのコミュニケーション状況についても把握し問題点を拾い上げ、適した面接指導を行う。加えて実習状況不良時には頻回に実習地訪問を行っている。

◆自己点検評価結果における課題と対応

臨床実習指導者連絡会議、実習地訪問や実習開始と終了後に指導者のご意見をそれぞれ伺い施設からの要望や現場からの意見を伺い、実習内容について協議を行う。

⑩	基準Ⅲ-9	臨床実習施設に関する事項
---	-------	--------------

◆評価基準

- ① 指定規則、ガイドライン等で定める基準が遵守されている
- ② 各障害・病期・年齢層を偏りなく経験できる実習施設が確保されている
- ③ 協会認定、または「病院機能評価」等の施設が半数以上確保されている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- ② 基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

指定規則、ガイドライン等で定める基準に従い臨床実習の3分の2以上は病院、診療所で行っている。医療機関、介護老人保健施設、児童福祉施設など領域の偏りなく臨床実習を実施している。協会認定、「病院機能評価」等の施設は半数を超えていない。

◆自己点検評価結果における課題と対応

訪問リハビリテーション、通所リハビリテーションでの実習が可能な施設の確保に努める。

⑩	基準Ⅲ-10	臨床実習指導者
---	--------	---------

◆評価基準

- ① ガイドライン等で定める基準が遵守されている
- ② 指導者は全員が5年以上の臨床業務従事者である
- ③ 必要な教育・研修修了者が全実習指導者の20%以上を占める

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- ②：基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

ガイドライン等で定める基準を遵守し、全ての実習指導者が5年以上の臨床経験のある理学療法士、作業療法士である。
必要な教育・研修修了者が全実習指導者の20%以下である。

◆自己点検評価結果における課題と対応

今後の取り組みとして、研修受講の対象となる5年以上の理学療法士・作業療法士に実習指導者の認定講習受講を促し県士会や県内養成校が協力して全ての臨床実習指導者の資格取得を目指す。

④	基準IV-1	教育成果
---	--------	------

◆評価基準

- ① 教育成果向上のための取り組みがなされている
- ② 学業達成率が80%以上である
- ③ 新卒者の国家試験合格率が全国平均以上である（過去3年間の平均値）

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- 2：基準を概ね満たしている
- ③ 基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

1クラス担任、副担任2名による教育指導、生活指導を実施
解剖、運動、生理の基礎医学を重要視し、早い時期より小テストを行い、学生の習熟度を見極め、必要に応じて個別指導や補修を実施する。
専門カウンセラーによる完全にプライベートが守られた学生相談室を設置
平成30年度学業達成率 PT学科：76.4% OT学科：72.7%
平成31年3月国家試験合格率 PT学科：100% OT学科：70.0%

◆自己点検評価結果における課題と対応

両学科100%の合格を目標に、国家試験対策講義、業者模試、学科別特別講義、少人数グループ形式、個別指導など多様な対策でアプローチしている。

④	基準V-1	社会貢献
---	-------	------

◆評価基準

- a. 自治体事業への協力
- b. 地域住民への貢献
- c. 学生ボランティアへの支援
- d. 士会・協会活動への協力

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない→a+b+c+d（0～5件）
- 2：基準を概ね満たしている→a+b+c+d（6～15件）
- ③：基準を全て満たしている→a+b+c+d（16件以上）

◆自己点検評価結果の理由

<p>障害者スポーツ指導員(初級)資格取得認定校、在学中のカリキュラムにて取得可能であり、愛媛県の障がい者スポーツ大会を始め、様々な障がい者のスポーツ大会にボランティアとして毎年参加している。成長期の運動機能の障害予防、運動に親しむ資質・能力の充実を図る目的で地元の中学校へストレッチ指導を実施している。1年生で受講する講義を活用し、全国手話検定5級の試験を受講・取得している。世界網膜の日 in 愛媛[日本網膜色素変性症協会(JRPS)]へガイドボランティアとして参加。その他、地元の介護施設の行事、地元青年団主催の地元行事に対する活動ボランティア、地元河川の清掃活動など多岐に渡り活動を実施している。</p>
--

◆自己点検評価結果における課題と対応

<p>多くの要請に応えるべく地方自治体、法人、団体、施設へのボランティアへ参加している。ボランティア活動は、基本学生の講義に支障の無い時間帯や曜日になるため、学生の休日・休息や自主勉強、健康やストレスも考慮し、学科・学年別、有志など無理のない範囲で行えるように学校側もよりサポート体制を整えたい。</p>